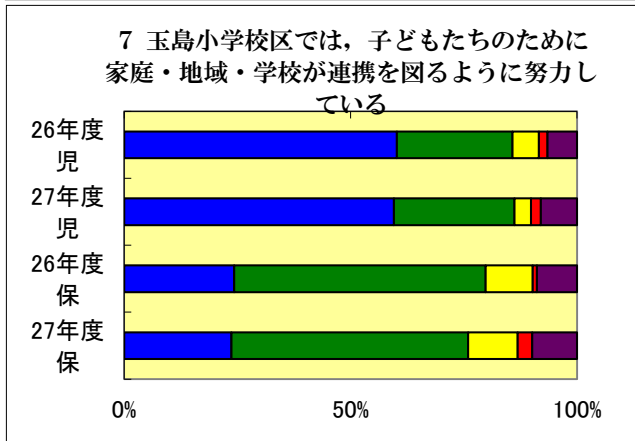
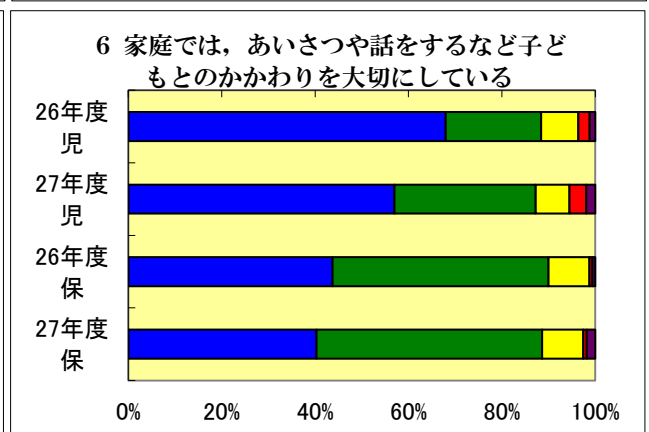
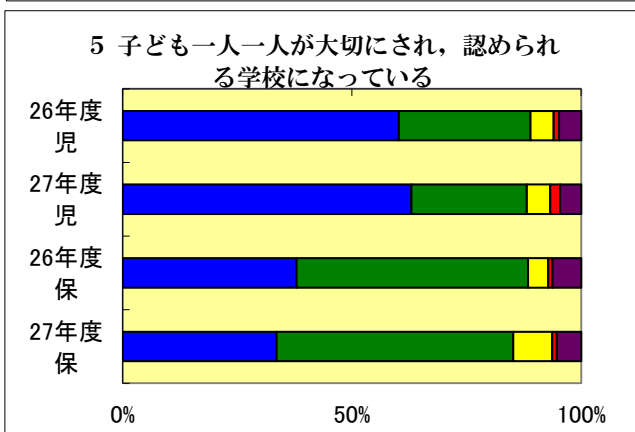
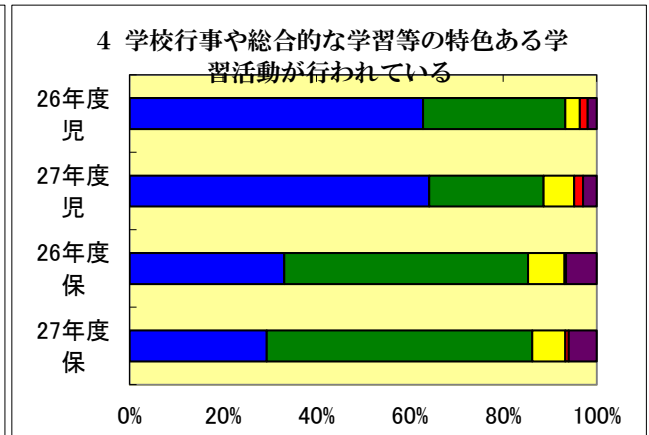
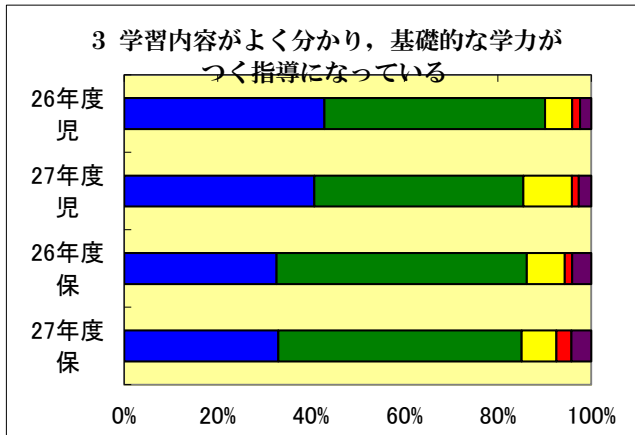
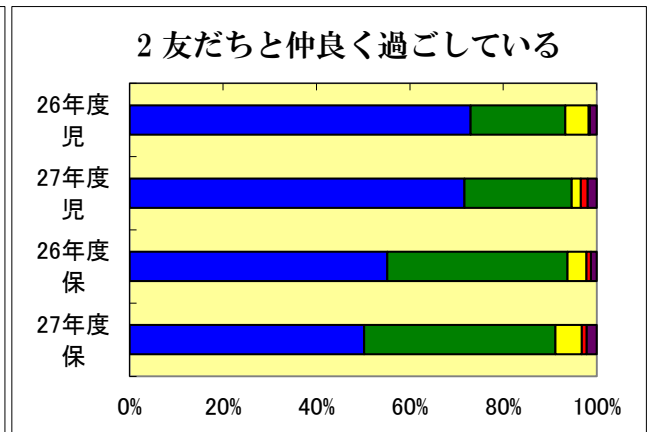
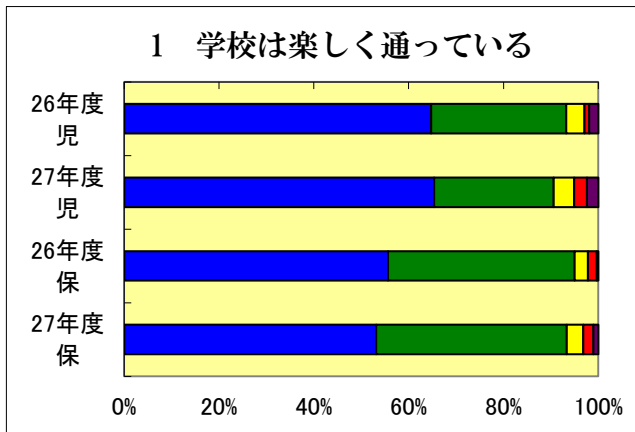


平成26・27年度 学校自己評価 児童・保護者(生活アンケート結果比較)

■とてもよい ■まあよい ■やや不十分 ■不十分 ■わからない



【考察】

- すべての項目において「とてもよい」「まあよい」が児童、保護者ともに80%を越えており、肯定的な評価が多い。
- 1, 2の項目については、「とてもよい」「まあよい」が90%を越えており友達と仲良く楽しく過ごすことができている。
- 3の項目について26年度に比べて児童の「やや不十分」が増加している。放課後学習や家庭学習の充実など、学力向上に向けての取組を一層進めていきたい。
- 5の項目について26年度に比べ児童の「とてもよい」が増加している。
- 6の項目については、ここ数年重点的に取り組んでいる。「とてもよい」と「まあよい」を合わせると90%を越えるが、保護者は「とてもよい」より「まあよい」の割合が高くなっている。今後も一人一人に習慣化するまで地道に取り組んでいきたい。
- 7の項目の保護者について「とてもよい」が他の項目に比べると割合が低くなっている。今後もより一層家庭や地域との連携を進めていきたい。

